

国の「スタートアップ・エコシステム拠点都市」向け限定プログラム
海外展開向けアクセラレーションプログラムに
横浜市の支援するスタートアップ3社が採択 支援がスタート



横浜市は2020年7月に、国（内閣府）の「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略※1」について、スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム※2の一員として、「グローバル拠点都市」に選ばれました。このたび、海外展開への足掛かりや投資機会創出を狙いとして全国の「スタートアップ・エコシステム拠点都市」のスタートアップを対象に、グローバルアクセラレーターによるアクセラレーションプログラムが実施されます。

横浜市からは、YOXO BOX で支援するスタートアップのうち、3社が採択され、支援がスタートします。

プログラム概要

事業ステージや分野などに応じた2ステージ6コースに分かれて、各分野トップクラスのグローバルアクセラレーターが、ビジネスモデル構築のためのメンタリングや、支援者・ビジネスパートナーなどとのネットワーキング、海外投資家等に対する事業プレゼンテーションを実施します。




ステージ	コース	分野	アクセラレーター	目的
Global Scale (使用言語：英語)	Global Scale	分野問わず	Techstars	海外での販路開拓、 事業提携、資金調達
	Enterprise	B2B、B2B2C、SaaS	Alchemist Accelerator	
	Bio/Healthcare	バイオ、ヘルスケア等	CIC	
	CleanTech	クリーンテック等	Techstars	
	University	大学発、ディープレック	Berkeley SkyDeck	
Global Preparation (使用言語：英語・日本語)		分野問わず	・WiL ・Plug and Play Japan	グローバル展開の基礎 知識の習得、海外市場 展開意欲向上

・実施期間・・・令和3年11月～令和4年3月

※プログラム詳細：https://www.jetro.go.jp/services/startup_city.html

プログラム参加企業

※五十音順

企業名・代表者	事業概要
アットドウス株式会社 代表取締役 中村 秀剛氏(旭区) コース：Bio/Healthcare	 モバイル型投薬・点滴デバイス「atDose(アットドウス)」の開発。このデバイスを用いて、従来行われてきた、がんなどの重篤な病気の治療方法を根本から変える投薬のプラットフォームづくりを目指し、患者のQOLを高める。
アルケリス株式会社 代表取締役 藤澤 秀行氏(金沢区) コース：Global Scale	 長時間の立ち仕事のつらさをなくすアシストスーツ「アルケリス」の企画・開発・販売を行うスタートアップ。「①装着したまま移動が可能②装着が容易③無電源」といった特徴を持ち、外科医や製造工場の作業員など様々な立ち仕事の負担軽減をサポートする。
株式会社ヘルスケアゲート 代表取締役 保田 浩文氏(西区) コース：Global Preparation	 在宅医療の医師の負担を軽減する「オンライン薬剤師サービス」の提供。 医師の診療時にオンラインで薬剤師が参加し、処方箋やカルテの作成サポートなどの業務を行う。

裏面あり

※1 国の進める「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」について

我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成と発展を目指す。このために、一定の集積、潜在力を有する都市で、地方自治体、大学、民間組織等がスタートアップ・エコシステムの形成に取り組む拠点形成計画を認定し、当該拠点都市に対して政府、民間サポーターによる支援を実施する。

※国は、グローバル拠点都市として全国で4か所選定しました。（スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム、Central Japan Startup Ecosystem Consortium、大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム、福岡スタートアップ・コンソーシアム）

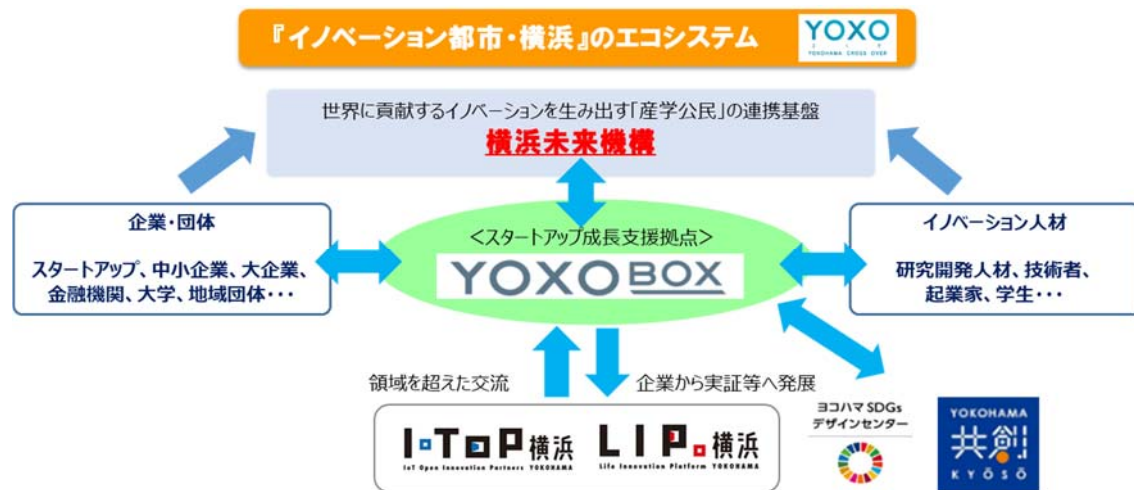
※2 スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアムについて

スタートアップ・エコシステムのグローバル拠点都市としての地位を確立させることで、国際競争力の強化、スタートアップの創出や成長、ひいては東京圏の経済の持続的な発展を実現し、また、スタートアップ・エコシステムによるイノベーションを社会に実装し、地域に還元する活動を目指す。

（事務局）東京都 （広域連携団体）横浜市、川崎市、和光市、茨城県、つくば市

<本市の取組の概要>

「イノベーション都市・横浜」を成長戦略の柱に位置付け、スタートアップ成長支援拠点「YOXOBOX」をハブとしてI・ToP 横浜、LIP 横浜といったオープンイノベーションの取組を生かし、まちぐるみのスタートアップ支援・新ビジネス創出のコミュニティ形成を進め、横浜ならではの「人・企業・投資」を呼び込むエコシステムを構築します。



YOXO の取組について

◆イノベーション都市・横浜／YOXOBOX 事業の取組◆

横浜市は、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。これまでに、みなとみらい地区の研究開発拠点をはじめ、様々な民間企業や、大学等によりイノベーション人材の交流機会が形成されています。今後、この取組を更に大きなムーブメントとしていくため、「イノベーション都市・横浜」の象徴となるロゴマーク YOXO（よくぞ）を決定。

さらに、令和元年、関内にスタートアップ成長支援拠点として、「YOXO BOX（よくぞボックス）」を設置。YOXO BOX では、スタートアップを対象とした YOXO アクセラレータープログラムやスタートアップ支援の専門家による個別相談などを実施しています。

■YOXOBOX 概要

- ・名称：スタートアップ成長支援拠点「YOXO BOX（よくぞボックス）」
- ・住所：横浜市中区尾上町一丁目6番 ICON 関内 1階（旧市庁舎向かい）
- ・営業時間：平日 12:00～20:00
- ・Web サイト：https://yi.city.yokohama.lg.jp/yoxo_box/

お問合せ先

経済局 新産業創造課長

高木 秀昭

Tel 045-671-3913

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。